

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
全国ワークショップ 報告書

2018（平成30）年3月5日（月）に、スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」全国ワークショップが開催されました。当日は、各オリンピック・パラリンピック教育推進地域の教育委員会の先生方にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年3月5日（月）14時00分～17時15分

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎

主催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

参加者：約60名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶

筑波大学 准教授 宮崎 明世 氏

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 課長 勝又 正秀 氏

14:05～14:50 各大学担当の地域拠点における事業概要および全国フォーラム報告

筑波大学 助教 大林 太朗 氏

日本体育大学 特別研究員 佐藤 洋 氏

早稲田大学 研究員 岡田 悠佑 氏

14:50～15:05 パラリンピック教育普及啓発事業報告

朝日新聞社 メディアビジネス局次長 岩佐 正俊 氏

15:05～15:20 東京都における事例紹介

東京都教育庁 指導部指導企画課指導主事 小宮山 詠美 氏

15:20～15:30 休憩

15:30～16:45 報告会及びグループ討議

各オリンピック・パラリンピック教育推進地域の教育委員会の先生方

16:45～17:15 各グループで議論された内容の報告

17:15～17:20 閉会挨拶

日本体育大学 教授 関根 正美 氏

開会行事では、筑波大学准教授の宮崎氏、及びスポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長の勝又氏より挨拶がありました。

続いて、全国中核拠点の筑波大学、日本体育大学、早稲田大学より、今年度の取り組みの報告が行われました。具体的には、各大学の担当地域における取り組みだけでなく、教材開発、調査研究などの各拠点独自の取り組みも紹介いただきました。

さらに、朝日新聞社の岩佐氏及び東京都教育庁の小宮山氏より、今年度の取り組みの報告が行われました。岩佐氏からは、朝日新聞社が推進しているパラリンピック教育の普及活動の概要や、パラリンピック教育に関する意識調査の結果について紹介がありました。小宮山氏からは、東京都のオリンピック・パラリンピック教育の方針や実態について紹介いただきました。



勝又 正秀 氏



大林 太朗 氏

休憩後には、参加された教育委員会の先生方を 5 つのグループに分け、討議が行われました。各グループでは、自己紹介の後、先生方にお持ちいただいた各地域の実践報告書をもとに実践報告が行われました。そして、各地域の特色ある取り組みをご紹介いただいた後、各種学校でオリ・パラ教育を実施した際に挙げられた課題を共有しました。さらに、それぞれの課題に対する解決策を検討し、来年度の取り組みの方針について情報交換を行いました。

グループ討議後は、各グループの代表者による発表が行われました。各グループからの報告では、オリ・パラ教育の重要性や効果は先生方に浸透してきているが、推進校の拡大や継続的なオリ・パラ教育の実施のためには、取り組みやすい環境づくりや学校全体での情報共有、さらには地域や企業との連携の模索などが課題として挙げられました。また、来年度に向けて、なるべく早い時期にセミナーを実施して実践に向けた準備の時間を十分に確保することが重要であるという意見も出ました。

なお、今回の全国ワークショップには、来年度以降に本事業への参加をご検討いただいている地域の教育委員会の先生方も参加されており、今年度の事業報告やグループ討議を通して、事業の趣旨や実際に各種学校でオリ・パラ教育を実施するうえでの困難や工夫について情報提供が行われました。

最後に、日本体育大学の関根氏より閉会の挨拶があり、散会となりました。



グループワークの様子



発表の様子



関根 正美 氏